

原料費調整制度による適用ガス料金の調整について (2021年1月検針分)

武州ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2021年1月に適用する1^m当たりの単位料金を、2020年12月検針分に適用の料金に比べ2.23円(消費税込)下方に調整させていただきます。

調整は、検針月の3か月前から5か月前まで(中2か月)の3か月平均の原料価格変動額に応じて行うもので、2021年1月検針分の単位料金は、2020年8月から2020年10月の平均原料価格に基づき算出しました。

この結果、1か月に32^m(45MJ/^m)のガスをお使いになる標準家庭で、2020年12月検針分に比較して、71円(消費税込)ガス料金が下がります。

供給約款料金表

(消費税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (円/月)	単位料金 (円/ ^m)		基準単位料金 (円/ ^m)
			2021年1月適用 単位料金(円/ ^m)	2020年12月適用 単位料金(円/ ^m)	
料金表A	0 ^m から20 ^m まで	814	158.02	160.25	160.00
料金表B	20 ^m をこえ50 ^m まで	1,329	132.22	134.45	134.20
料金表C	50 ^m をこえ200 ^m まで	1,632	126.17	128.40	128.15
料金表D	200 ^m をこえ450 ^m まで	3,214	118.27	120.50	120.25
料金表E	450 ^m をこえ750 ^m まで	5,402	113.39	115.62	115.37
料金表F	750 ^m をこえるもの	10,847	106.15	108.38	108.13

標準家庭における影響

(消費税込)

1か月のご使用量	2021年1月検針分の料金	2020年12月検針分の料金	影響額
32 ^m (45MJ/ ^m)	5,560円	5,631円	▲71円

原料価格の変動

基準平均原料価格 (a)	34,700 円/t
2020年8月～2020年10月の 平均原料価格 (b)	32,350 円/t
LNG価格	31,500 円/t
LPG価格	40,660 円/t
差 額 (b-a)	▲2,350 円/t

[参 考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 基準平均原料価格(34,700円/t)と「平均原料価格(料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.0858円(0.078円に1.10(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。□

単位料金調整額の算定方法

- ・ 平均原料価格の算定

	LNG平均価格	(貿易統計ベース)	31,500 円/t	×	0.9608	
+	LPG平均価格	(貿易統計ベース)	40,660 円/t	×	0.0513	
						32,351.058 円
						↓ (10円未満四捨五入)
						32,350 円/t

- ・ 原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 34,700円/tからの変動額)

$$32,350 \text{ 円/t} - 34,700 \text{ 円/t} = -2,350 \text{ 円/t}$$

↓ (100円未満切り捨て)

$$-2,300 \text{ 円/t}$$

- ・ 単位料金調整額(1m³当たり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = -2,300 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times 0.0858 = -1.9734 \text{ 円}$$

↓ (小数点第3位以下切り上げ)

$$-1.98 \text{ 円}$$